

塾全協東通信



題字：伶齋（白川亮 進ゼミ柏）

奈良研修に参加して

東日本ブロック理事長 沼田広慶

4月12日（日）に西日本ブロック主催の現地研修会に参加してきました。集合は奈良の近鉄桜井駅。近畿地方の会員を中心に14～5人が集まりました。案内と解説は中村 勲研修局長です。

「柿食へば鐘が鳴るなり法隆寺」は子規の有名な句ですが、ここは斑鳩の里より東南へ約12キロ離れた三輪山山麓です。近くには倭建命の「やまとはくにの まほろば たたなづく 青がき 山ごもれ 大和しうるはし」の万葉歌碑があります。

私たち一行はバスで最初の目的地である箸墓古墳を目指します。



「ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲」は佐佐木信綱ですが、この歌は旅情をそそります。

学生時代に読んだ亀井勝一郎の「大和古寺風物誌」もいいですね。そんなこんなを思い出しながらバスに揺られていると右前方に大きな古墳が見えてきました。箸墓です。皆から「おおっ」という歓声が上がります。

全長272メートル、後円部の直径は157メートル、高さ23メートル。前方部の幅は25メートル、高さ10メートル。孝霊天皇の皇女で崇神天皇の叔母であった倭迹迹日百襲姫（やまとととひももそひめ）命の墓とされています。邪馬台国の卑弥呼の墓ではないかという説もあり、古代史愛好家にとってはロマンあふれる古墳です。周囲を歩いてみましたが、あまりに大きいので全容がつかめません。やや離れた園地のような所からやっと全体が眺められました。後ろには三輪山が美しい山容を見せています。この辺りは纏向遺跡のエリアであり、東にそびえる巻向山から流れてくる、一年を通じて14℃という水の影響で温暖な土地柄が今でも保たれているということでした。まほろばの地とはまさにこの辺りを言ったのだそうです。

箸墓からは歩きます。近くにあるホケノ山古墳に立ち寄り、遠く畝傍山・耳成山・天香具山の大和三山を眺めてから、いよいよ「山の辺の道」に入りました。檜原（ひばら）神社、狭井（さい）神社を経て、三輪山を御神体とする我が国最古の神社、大神（おおみわ）神社に向かいます。和辻哲郎は「古寺巡礼」の中で、「古代神話に重大な役目をつとめているこの三輪山はまた特に大和の山らしい。」と書いていますが、確かに笠を伏せたような山容は美しく、古代から最も聖なる山とされているのもうなずけます。大神神社はさすがに大きなものでした。参拝者も多く、海外からの観光客も見かけます。司馬遼太郎は「街道をゆく」の中で、「大和盆地を征服した崇神帝は原住民（出雲族）があがめていたこの三輪山を、政略上これをあがめ直すこ

とによって、原住民を慰撫しようとした。」と書いていますが、この山、というより、この辺り一帯が古代大和の中心地になった本当の理由は、このあとの講演会で聞かされることになるのですが、それまでの古代人たちの生活を夢見るような気分は吹き飛び、驚愕の大和古代史の世界に踏み込むことになるとは、その時は誰も予想していませんでした。

今日の宿泊先であるペンション「サンチェリー」のオーナーである田中八郎氏は古代研究者としても知られており、多くの著書があります。「なぜ大和政権は奈良盆地に誕生したのか？」と題して講演していただきました。以下はその概要です。

東シナ海、玄界灘、瀬戸内海へと船を進めた武装集団は大阪湾から大和川を遡り、亀瀬溪谷を経て大和盆地に入りました。当時の大和盆地は広大な湿地帯を抱え込んでいました。船は三輪山の麓まで来て、長かった航海がやっと終わります。が、彼らは休む間もなく大和びとたちと交易の商談を始めます。当時の舶来品と言えば、医薬品、布製品、播種用稲粃、雑貨品の4種、そしてこの三輪山の麓における市で売られる大和が誇る最大の商品は辰砂（しんしゃ）でした。三輪山から東南に広がる宇陀地方の山々は辰砂の露頭掘りができる場所だったのです。辰砂とは硫化水銀（HgS）からなる鉱物のことであり、赤色硫化水銀、丹砂、朱砂等とも呼ばれます。古代では単に「丹（に）」ともいいました。今でも山の中に「にゅう」という谷の名前などが残っている所がありますが、その名残かもしれません。さて、この辰砂に含まれる水銀は金の採取にかかせないものでした。水銀と他の鉱物との合金を水銀アマルガムといいます。水銀は約180℃で蒸発し、沸点は約350℃であるため、比較的容易に水銀を蒸発させ、混合物をとりだすことができます。そうです。金はこうして手に入れたのでした。

古墳の発掘品を調べてみると、鍍金された痕跡のあるものがあります。かなり古くからこの技術は広まっていたようです。金と水銀、この組み合わせが大和の秘密でした。三輪山の山容の美しさなど渡海者にとってはどうでもよかったのです。水銀鉱石が手に入る市が立つところの目印こそが三輪山でした。その山麓に市が開かれていたのです。

一方、天香具山は万葉集でよく歌われますが、耳成や畝傍はほとんど歌われません。何故でしょうか。実は、天香具山は宇陀山塊に含まれる多武峰（とうのみね）の延長線上にあり、尾根の一部とっていい山です。ここでは辰砂以外にも宝石、薬用、陶用に利用できた鉱物を産したようです。山頂は角閃はんれい岩と変輝緑岩で出来上がっており、決して形のいい山ではありませんが、古代の大和びとにとっては宝の山でした。藤原鎌足の墓は多武峰にあります。辰砂のエリアを我が物にしようとした鎌足の思いをそこに感じます。

しかし、水銀は毒性が強く、水俣病の原因となったのがメチル水銀であったことはいまさら説明するまでもありません。中枢神経疾患、四肢末端の感覚障害、運動失調、視力聴力障害、平行感覚障害、言語障害、内分泌器・腎臓・脳障害等々、恐るべき毒性です。呼吸器から蒸気として吸引した場合はさらに毒性が強くなります。古代の人々はどうやって金をとり出したのでしょうか。

単純に水銀を蒸発させたのです。鉱物への知識はあっても毒性に対する科学的知識はありませんでした。仏教が伝来し、銅製の仏像に鍍金するようになって、この方法は変わりませんでした。水銀は金を溶かすように吸い込み、金アマルガムになります。これを仏像に均一に伸ばし、火にかざすと水銀は蒸発し、金は残るのです。金色に輝く仏像の完成です。勿論、機械を使っている訳でも、水銀を安全に回収する設備もありません。仏像製作者たちの人手に頼っていました。もう多くを語る必要はないでしょう。

麗しき大和はおぞましき阿鼻叫喚の地獄と化したのです。吸引時間が72時間を過ぎると水銀は中毒症状を引き起こします。相当数いたであろう鍍金技術者は水銀中毒でバタバタと倒れていきました。苦しみもがき死んでいく者たちを嘆き悲しむ声は天にも地にも満ち満ちたのです。朝廷は「嘆くな、騒ぐな」というお触れを何回か出しています。当時の恐るべき有様を想像すると身の毛がよだつばかりです。当時はタタリとされました。奈良の仏教寺院は奈良の外には出て行きません。いや、出られなかったのです。京都に遷都した理由の一つには、このタタリから絶縁したい、逃げだしたいという思いがあったようです。比叡山延暦寺も高野山金剛峰寺も奈良の地を避けて北と南に建立されました。

一方、大型古墳は延べ50000人で15年間の組織的重労働の末に出来上がったものです。被征服民を各地から強制的に集めてきたのでしょう。征服民が被征服民の労働力をコントロールしたのです。労働者の衛生管理や食料供給にも組織的な管理能力を要求されました。この能力こそが飛鳥から奈良・平安朝における巨大寺院の建立に役立ったのです。

水銀中毒と重労働という苦しみと悲しみをともなった、被征服民である大和びとたちの血と汗の土台の上に日本の古代仏教文化は花開いたのです。

いかがでしたでしょうか。この概要では田中先生の熱弁を伝えることはできませんが、大和の古代史に新たな視点を投げかけてくれた先生へ感謝したいと思います。

夕食後の懇親会が盛り上がったのは言うまでもありません。本当に楽しい研修会でした。実行委員長の中村 勲先生、お疲れ様でした。ありがとうございました。

鉱物と人間は古来深くかかわりあってきました。しかし、それらは扱い方を間違えれば恐るべき惨劇を引き起こします。現代における「辰砂」は何でしょうか。それは融点 1132.2℃、沸点 4131℃、原子番号 92 のウランかもしれません。同位体のウラン 235 は原子力発電にも核兵器にも使用されています。広島、長崎、チェルノブイリ、スリーマイル島、そして福島原発等々。人類にこれ以上悲惨な歴史を刻むことのないよう祈りたいものです。

以上

4 月度理事会議事録

[敬称略]

議長 沼田、記録 中山

日時：平成 27 年 4 月 8 日（水） 午前 10 時 30 分～午後 12 時 30 分

場所：池袋ルノアール 第 1 会議室

出席：沼田（理事長）、中村（全国事務局長・広報局長）、山本（財務局長）、
星野（千葉支部長）菅原（東京支部長）、望月（埼玉支部長）、星野（理事）
中山（事務局長） 以上 8 名の出席

審議、報告事項（敬称略）

*** 詳しくは会員向けに発送した「東通信」をご覧ください。**

【理事長挨拶】

全国塾コンソーシアム協議会の設立大会が午後から行われる。この会には塾全協も参加するので後多田会長とともに理事長の私も参加する。大手だけでなく個人規模の塾のためになるような取り組みをするよう要望したい。本日の議題としてはブリティッシュヒルズ

の英語合宿、5月の総会、中高入試を考える会、情報交換会に関して、また各局、各支部からの報告、連絡事項が主な議題である。

【連絡事項】

- ①全国塾コンソーシアム協議会の設立大会 13:30～ 如水会館
- ②西日本ブロック研修会 4/12・13 沼田理事長が出席

【ブリティッシュヒルズ】

5月3日～5日 2泊3日 第4回24時間英語合宿
対象：小学生～高校3年

参加費：38,800円（48,000円のところ塾全協特別価格）

その他 8月11日・12日、10月24日・25日、12月31日・1月1日

【ブロック総会・全国総会・中高入試を考える会・情報交換会】

5/24（日）西日本ブロック総会

5/31（日）全国総会・全国常任理事会・東日本ブロック総会

【NPO 塾全協東日本ブロック総会の進行予定確認】

日時：5月31日（日）

【中高入試を考える会】

15:00～16:50

講演者 五十嵐裕明氏（進研営業部次長）
穴澤嘉彦氏（新教育研究協会営業部次長）
森上展安氏（森上教育研究所所長）
岩佐圭一氏（岩佐教育研究所代表）
ブリティッシュヒルズの紹介

【私学と私塾の新年度情報交換会】

17:30～19:30 会場 中野サンプラザ 13F

【財務局】 現時点での財務状況⇒別紙

イベントでの赤字をできるだけ圧縮したい。
パートナー企業（賛助会員）の募集について

【研修局】 ケビン氏の英語教育のビデオを研修の中に組み込めるかを検討する。

【全国事務局・広報局】

塾全協新聞について、新会員募集のための会員メリット等を載せた方が良いかを検討する。

【事務局】 5月31日の東日本ブロック総会の資料について

支部報告は 活動報告・収支決算・予算案の3点セットとする
4月末までに事務局までデータで送って欲しい。

【東京支部】 6月上旬「夏期講習会の上手な集客法を考える」というテーマで研修会を企画する

【千葉支部】 6月に研修会を考えている。東京との共催も検討している

【埼玉支部】 4月16日に進学相談会の実行委員会をおこなう。

次回理事会は 平成27年5月13日（水）午前10時30分～午後12時30分

場所： ルノアール池袋パルコ横店 第1会議室

2014年度NPO塾全協東日本ブロック主催 第2回ブリティッシュ・ヒルズ英語合宿(8/14~16) 参加生徒の感想文(その4)

NPO塾全協東通信2014年9月号にブリティッシュ・ヒルズ合宿に参加した高校生の感想文を掲載しましたが、その後他にも沢山集まりましたので、4月に発行予定のNPO塾全協新聞も含めて少しずつ掲載させて頂きたいと思います。なお、漢字のミス以外は原文のまま載せます。

小6 S.A. (埼玉県)

私は、今回の英語合宿に参加してたくさんのことを学んだり、見学したりしました。その中で一番こころに残ったのは、おきさき様やおとの様の部屋、図書館です。おきさき様の部屋には、昔の家具がならんでいて、おきさき様やおとの様は朝起きるとベッドの前のいすにすわってきがえを手伝ってもらっているということが分かりました。図書室は、テレビのさつえいをやることがあるのがビックリしました。もう一つは、いろんなUKさんにサインしてもらったことです。私は、サインをもらった人達と仲良くなれました。仲良くなったUKさんが話しかけてくれたのでうれしかったです。

この英語合宿で英語にじしんが付き、はつ音も良くなったと思います。なので、このけいけんを活かしてがんばりたいと思います。

中1 M.K. (埼玉県)

私が合宿で楽しかったことは、他の塾の人達とはなせたこと、レッスンです。

特に楽しかったレッスンは、レッスン3と4です。3では、ゲームを中心とし、楽しく英語を使えました。4では、初めてスコーンを作りました。説明は英語だったけど、先生が前でやってくれたおかげでスムーズに、そしておいしく作れました。

そして、マナーハウスの人達と会話をしたりして、質問のしかたなどをしっかりと覚えられて、よかったです。

最後に、この合宿で英語を習ったため、行く前よりも英語が身につきました。なので、もっと英語力を向上させるために、学校の授業や、塾でも今まで以上に先生の話の聞いたり、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

中2 K.I. (千葉県)

私は今回の英語合宿で、二つの事を学びました。

まずは一つ目は、人の目をちゃんと見て話す事です。最初は怖くて目を見る事ができませんでした。しかし、ブリティッシュ・ヒルズの方たちは、ちゃんと目を見て、優しく話してくれました。私も自然に目を見て話していました。ふと思ったことがありました。人の目を見て話す事は大切だと気づきました。

二つ目は、自分から声をかける事です。向こうの方からサインをもらうという企画で、自分から話しかけなければいけません。人見知りな私にとって、かなり大変でしたが、どの方々もフレンドリーに接して下さいました。

この二つの事は、今回の合宿にあまり関係ないと思いますが、どれもブリティッシュ・ヒルズの方々から学んだ事です。とても楽しかったので、また、行きたいです。

高1 I.A. (埼玉県)

ブリティッシュ・ヒルズでは。たくさんのネイティブの方々の下で授業で学び、会話で学び、英語や英国の歴史について多くの事を知ることができました。また、ネイティブの方々に自分から話しかけることで、会話ができるという一般的なコミュニケーションのシステムの下での勉強がとてためになりました。積極性が話しかける佑樹になり、話しかけたらフレンドリーに話してくれる。このことは私の英語の能力を巣立ててくれました。

会話中に、英語がとぎれ、続かないことも何度もありましたが、それを優しく簡単な言葉で教えてもらえたことは、うれしかったです。

宿舎などの雰囲気もなかなか英国を思わせるもので、本当にイギリスに来て、学校に通っているようでした。

この体験で、私は、つたない英語でも話すことで自分の英語が成長していくことをしりました。これからは、英語を話すということで英語を効率良く学んでいきたいです。

3年前の女子の卒塾生から便りが届き、「4月から早稲田大学教育学部に入学することになりました。」と報告をうけました。中学時代の成績は北辰偏差値 62 位なので良くできた女子ではありましたが、トップクラスの成績ではありませんでした。高校でも部活のソフトをやりたいということで県立は志願せず、早々に部活中心で私立を決めてしまいました。塾としては最後の県立まで勝負して欲しかったので強く印象に残っている生徒でした。そのまま順当にいけば、独協・明学・日大あたりかなと思っていました。正直、早稲田とはびっくりでした。早速、連絡して話を聞くと、入学時は4コース中の下から2番目のコース、2年次に一つ上がりそこでトップクラスの順位をキープ。部活も最後までやり遂げ、推薦ではなく一般受験で合格を勝ち取ったとのことでさらにびっくり。本人いわく高校1年から地道にやった、やっぱりここがポイントなのでしょう。

また、今年の卒塾生の中で県立入試の得点開示での調査で419点を取った生徒。入塾が中3の6月と遅く、2年生の1年間は本当に勉強しなかったとのことで、中2の内申は30しかありませんでした。そんなわけで吸収力はあったのですが、中2単元を取り返すのに時間がかかり、北辰などの実力テストでは最後まで奮いませんでした。北辰テストの山場が終わった12月中旬くらいから、開眼した様にめきめきと力をつけていきました。1月2月の授業の感触は各教科とも抜群でした。川越高校受験を勧めたのですが本人・親御さんとも県立に行きたいとの思いが強く川越高校を受験する決断が最後までつきませんでした。彼の12月の北辰テストの5科得点は316点でした。これからすると実に103点も得点アップしました。結果からすれば川越高校はもちろん浦和高校も合格可能な得点を取ったわけです。

この生徒が、もし中2から塾に通っていたら・・・と思うと高校受験を中心に指導している塾の教師としては残念ではあります。でも、本人も大学受験では結果を出すので高校1年から勉強優先で頑張ると言っているのです。3年後が楽しみです。

この2例から高い目標をもって最後までやり通す「あきらめない気持ちが大切」、「中学生、高校生はいつどこで伸びるかわからない」とあらためて感じた次第です。

NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2015年)

5月31日(日) 全国総会・全国常任理事会・東日本ブロック総会
中高入試を考える会・私学と私塾の新年度情報交換会
8月11日・12日 第5回ブリティッシュヒルズ英語合宿

編集 NPO塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行
〒350-0322埼玉県比企郡鳩山町今宿229番地
TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp
NPO塾全協東日本ブロックHP <http://www.jzk-east.com>